

5-1. 平成29年度エデンの園ふれあい総括

チーフ 塩満裕子

【総括】

ふれあいの目的として、利用者とその家族が安全で安心して楽しみながら利用できるために利用者や家族との信頼関係を大切に、利用者が不安な気持ちにならないよう配慮してきました。また、個別支援計画に基づいて利用者一人ひとりの障害特性を理解し、衛生的で安全面に配慮した支援を心がけました。そして、中心的活動の一つである音楽の練習を行い、老人関係の施設へ行き、コンサートを通して交流をもつことで、地域での生活の幅を広げることができました。

生産的活動も2年目ということで、利用者の方も作業の内容を理解し、作品製作に意欲的でした。特に、販売を目的に、新しい作品製作に取り組むことで、意欲や技術の向上を図ることができました。また、8月と12月と3月に工賃の支払をし、現金を手渡すと、満面の笑顔で受け取られ、働く喜びや励みに繋がったことが感じられました。

29年度は障害の枠を広げたことで、精神疾患のある方の利用も増えてきました。また、支援学校に通っている高校生の施設体験利用も増えてきたので、利用者のニーズに応えられるよう支援していきたいと思います。

苦情に関しては、交通マナーについて一般の方からの苦情が3件と上長の態度や言葉使いについて職員からの苦情が1件ありました。交通マナーについては、制限速度を守り、気持ちに余裕をもって運転することを心がけるよう職員に周知しました。また、職員に対しての発言では、その職員を傷つけるような発言をしないために、働きやすい環境づくりを行う必要がありました。

事故については11件の報告がありました。怪我や服薬、点眼忘れ、利用者の物品破損や飛び出し等が上がっていました。事故報告が上がった時点で、同じミスが起きないように職員みんなで対策を考え、周知して予防に繋げるようにしました。今後も、事故報告を提出することが「悪い」という風にとらえるのではなく、利用者の安全や安心して利用できる環境づくりのために必要であるということ働きかけていきたいと思います。

【重点目標について】

- ① 利用者一人一人の障害特性を理解し、それぞれの利用者の能力に合った個別支援計画に基づいて支援します。

個別支援計画の作成では、サービス等利用計画に基づいて、担当職員とケア会議を行いました。利用者の要望等を取り入れながら利用者が楽しみや生きがいを感じてもらえるような目標を考え支援してきました。個別の支援を行う事で、利用者自身が一人でできることが増えたり、不安に思っていたことが改善されたりして精神面での安定も図られました。また、利用者の障害特性を理解するために、権利擁護研修を毎月職員会時に実施しました。事例をもとに利用者支援のあり方などを振り返る時間にもなりました。

<権利擁護研修>

月	内 容	担当者
4月	施設合同研修ノーマライゼーション	廣瀬施設長
5月	対人援助をしていく中で権利擁護を考える	川辺宣敬
6月	権利擁護の3層構造から支援を考える	甲斐正人
7月	エデンの園権利擁護マニュアル利用者支援の心得から考える	日高信二郎

8月	Mさんの支援について	兒玉妙子
9月	「施設における虐待防止体制の整備」虐待を起こさないために	川辺宣敬
10月	虐待防止チェックリストの結果から支援の在り方について	塩満裕子
11月	障がいを理解すること（サポート8月より）	甲斐正人
12月	利用者支援の心得から考える	日高信二郎
1月	虐待防止・権利擁護研修から考えること	兒玉妙子
2月	利用者のニーズをそのままにしない為に	川辺宣敬
3月	権利擁護の中で「合理的配慮」「環境の整備」に対しての振り返り	甲斐正人
	虐待防止チェックリストの結果報告	塩満裕子

- ② 利用者の心身の状況や健康状態を把握し、安心して通所できるよう、常に安全で明るく清潔な環境作り、職員と利用者が信頼しあえる家庭的な環境づくりに努めます。

毎日の健康観察を行い、利用者の心身の健康状態の把握に努めました。また、連絡帳等を通して、家族やホーム職員との連携も図りました。特に、精神面での不安定な原因が分かれば早期に対応する事で、安定に繋がり、利用者や家族との信頼関係を築く事も出来ました。

- ③ 感染予防として、日頃から、体力維持に努め、日々のバイタルチェックにより、早期に適切な対応が取れるように、「気づき」の意識を高め、ホーム職員や家族等との連携を図ります。

毎日のバイタルチェックやご家族、ホーム職員との連携を図る事で、早期に対応する事ができました。また、日頃から、施設内の消毒に心がけ、利用者には、手洗いや消毒の徹底を言葉かけし実施する事で、感染予防につながったと思います。

- ④ 音楽活動を通して、地域社会の一員として意識を高め、生きがいに繋がるよう支援します。

音楽活動では、10月の全国盲重複障害者福祉施設研究大会アトラクションでの演奏を目的に練習をしてきました。当日は、多くの利用者にとって初めてのステージでしたが、練習以上の力を発揮し素晴らしい演奏ができました。この体験が自信に繋がり、12月のクリスマス会や1月のふれあいでコンサートに向けて、更に音楽活動時の練習に意欲がうかがえました。また、地域交流という目的で、9月はさくら苑、11月は認知症高齢者グループホームこすもすへ行き、演奏をしました。数名の利用者と職員での参加でしたが、皆さん楽しみに待って頂き、知っている曲になると一緒に歌うなど、楽しい時間を一緒に過ごすことができました。地域に出て演奏する事で生活の幅を広げ、生きがいにつなげることができました。今後も、音楽を通して地域との交流の機会にしたいと思います。

- ⑤ 生産的活動として、委託作業や下請作業等の場を提供します。また、販売等の機会を提供し、製作用意欲の向上を図り、工賃を支払う事で、楽しみや働く喜びに繋がるように支援します。

生産的活動では、作品製作や下請作業を行いました。下請作業では、宮崎食研より、シール貼りやボトルキャップの組み立てや金柑の葉切りの作業を行いました。時間に余裕をもって商品を提供していただいたので、丁寧に作業をする事ができました。内容によっては、視覚障がい者の方でも工夫をする事で、作業に参加する事ができました。29年度、宮王設備工業の作業は、ほとんど依頼がありませんでした。楽しみにされている利用者もいましたので、その都度、作業予定日には説明をしました。宮崎食研の作業依頼が増えた事で、気持ちを切り替えることができましたようでした。

作品製作では、こより棒を使った作品製作や点字用紙を再利用したポチ袋や栞、バック等の製作も行い、販売にも参加しました。販売は殆ど休日に行われるため、利用者の参加は少ないですが、イオンモールわくわく市販売や町内での販売等では平日の日もあり、利用者も参加する事で、楽しみをもって作品製作を行う事ができました。3回（8月・12月・3月）の工賃支払いでは、一人ひと

りに現金を手渡す事で、笑顔で嬉しそうに受け取られる姿が見られ、意欲や生きがいに繋げる事ができました。

【業務日誌】

月	日	曜	内 容
4月	3	月	音楽・エデンの園多目的ホールで集合写真撮影
	4	火	白状歩行
	5	水	音楽
	6	木	ドライブ
	7	金	健康観察・人事考課研修
	8	土	土曜学校参加
	10	月	健康観察・音楽
	11	火	運営委員会・点字学習
	12	水	ドライブ・新任教育研修
	13	木	研修委員会・下請作業（宮王設備工業）
	14	金	歯科往診（宮崎歯科福祉センター）・新任教育研修・記念塔清掃・音楽
	15	土	イースター昇天者記念会施設合同・職員会（ふれあい・法人・地域福祉課）
	17	月	健康診断（田中外科医院）・音楽・担当者会議
	18	火	白状歩行
	19	水	音楽
	20	木	新任教員研修
	21	金	ドライブ
	24	月	健康診断（田中外科医院）・音楽
	25	火	点字学習・下請作業（宮崎食研）・わくわく市贈呈式出席・人事考課研修
	26	水	ふれあい会・誕生会・下請作業（宮崎食研）
27	木	調理実習・下請作業（宮崎食研）	
28	金	音楽・下請作業（宮崎食研）	
5月	1	月	音楽
	2	火	白状歩行・下請作業（宮王設備工業）・研修委員会・新任教育研修
	8	月	音楽
	9	火	健康観察・点字学習・ケース会議・さくら苑交流会（14：10～14：40）
	10	水	選択外出（カラオケ）・
	11	木	運動（エコクリーン公園）・ケース会議
	12	金	音楽・人事考課研修
	13	土	土曜学校参加
	15	月	音楽・防災機器点検（宮崎防災）
	16	火	運営委員会・白状歩行・買物
	17	水	選択外出（ボーリング・温泉）・音楽
	18	木	調理実習・下請作業（宮崎食研）・集団指導
	19	金	選択外出（青島方面ドライブ）・下請作業（宮崎食研）
20	土	職員会（ふれあい・法人・地域福祉課）	

5月	22	月	音楽・下請作業（宮崎食研）
	23	火	選択外出（市内買物）・
	24	水	北消防署より立ち入り検査・ふれあい会・誕生会・わくわく市打ち合わせ 下請作業（宮崎食研）
	25	木	下請作業（宮崎食研）
	26	金	音楽・下請作業（宮崎食研）
	27	土	点字学習
	29	月	音楽
	31	水	ドライブ
6月	2	金	運動
	5	月	健康観察・音楽
	6	火	点字学習
	7	水	音楽
	8	木	運動
	9	金	ドライブ
	12	月	音楽
	13	火	白杖歩行・研修委員会・運営委員会
	14	水	レクリエーション・買物
	15	木	わくわく市販売・新任職員実習・
	16	金	わくわく市販売・音楽
	17	土	職員会（ふれあい・法人・地域福祉課）・わくわく市販売
	18	日	わくわく市販売
	20	火	調理実習・点字学習・人事考課面談
	21	水	音楽・新任職員実習
	22	木	調理実習
	23	金	音楽・施設実習（宮崎学園短期大学1年）
	26	月	避難訓練（地震）・音楽・施設実習（宮崎学園短期大学1年）
	27	火	白杖歩行・新任職員実習・精神科診察
28	水	ふれあい会・誕生会	
30	金	音楽・新規契約（甲斐奈津子）	
7月	1	土	音楽
	3	月	音楽
	4	火	点字学習
	5	水	音楽・わくわく市出店者会議
	6	木	価格委員会（コルクボード・紙バック・写真立て）
	7	金	ケア会議・アビリンピック作品搬入
	8	土	アビリンピック作品販売
	10	月	音楽
	11	火	白杖歩行
	13	木	担当者会議
	14	金	音楽

7月	18	火	運営委員会・点字学習
	19	水	音楽・調理実習（クッキー）
	20	木	調理実習（クッキー）
	21	金	サマーフェスタ
	22	土	施設家族会にてクッキーと作品販売・職員会（ふれあい・法人・地域福祉課）・下請作業（宮崎食研）
	24	月	音楽・下請作業（宮崎食研）
	25	火	わくわく市作品販売（イオン）・下請作業（宮崎食研）
	26	水	ふれあい会・誕生会・下請作業（宮崎食研）
	27	木	わくわく市作品販売・見学・下請作業（宮崎食研）
	28	金	歯科往診（宮崎歯科福祉センターより診察）・わくわく市作品販売 下請作業（宮崎食研）・音楽
	29	土	施設の土曜学校参加・下請作業（宮崎食研）
31	月	白杖歩行・音楽・下請作業（宮崎食研）	
8月	1	火	新任教育委員会・下請作業（宮崎食研）
	2	水	音楽・下請作業（宮崎食研）
	3	木	調理実習（クッキー）・点字学習・環境美化
	4	金	調理実習（クッキー）・音楽
	5	土	韓国学生交流会・九電作品販売
	7	月	音楽
	8	火	下請作業（宮王設備工業）
	9	水	ドライブ・新任教育委員会
	10	木	担当者会議
	15	火	点字学習
	16	水	音楽
	17	木	見学者来所（ルピナス支援学校高等部2年生）
	18	金	音楽・下請作業（宮崎食研）
	19	土	職員会（ふれあい・法人・地域福祉課）
	21	月	音楽・下請作業（宮崎食研）・買物（調理実習材料）
	22	火	白杖歩行・調理実習（プリン）・下請作業（宮崎食研） 実習（宮崎学園短期大学より2名）
	23	水	環境美化・ふれあい会・誕生会
	24	木	環境美化
	25	金	環境美化・音楽・体験実習（ルピナス支援学校高等部2年生）
	28	月	白杖歩行・音楽・リハビリテーション
	29	火	工賃支払（1回目）・点字学習・買物（喫茶おやつ用）・レクリエーション
30	水	レクリエーション	
31	木	ドライブ	
	1	金	環境美化
	4	月	環境整備・音楽
	5	火	白杖歩行・さくら苑交流会（ミニコンサート）・環境整備

9月	6	水	音楽・環境美化
	7	木	県監査
	8	金	健康観察
	11	月	音楽・実習（宮崎学園たんきだい
	12	火	点字学習・施設視察（スマイリング・パーク）
	13	水	ドライブ
	14	木	運営委員会・ケア会議
	15	金	音楽・下請作業（宮崎食研）
	16	土	職員会（ふれあい・法人・地域福祉課）・台風対策
	19	火	白状歩行・ドライブ・下請作業（宮崎食研）・施設内研修（メンタルヘルスケア）
	20	水	新任教育委員会・音楽・下請作業（宮崎食研）・ボクシー6ヶ月点検
	21	木	下請作業（宮崎食研）・盲重研打ち合わせ・福祉祭り打ち合わせ
	22	金	音楽・下請作業（宮崎食研）・ハイエース6ヶ月点検
	25	月	ふれあい会・誕生会
	26	火	点字学習・レクリエーション・下請作業（宮崎食研）
	27	水	音楽・下請作業（宮崎食研）
	28	木	調理実習（ゼリー）・下請作業（宮崎食研）
	29	金	音楽
	30	土	国富町社協ボランティア福祉まつり作品販売
10月	2	月	音楽
	3	火	白状歩行・わくわく市作品販売
	4	水	音楽（リハーサル）・楽器搬入・わくわく市作品販売
	5	木	全国盲重複障害者福祉施設研究大会アトラクション参加
	6	金	健康観察・楽器搬出・わくわく市作品販売
	10	火	点字学習・下請作業（宮崎食研）・施設体験実習（ルピナス支援学校）
	11	水	音楽・施設内研修・支援区分調査・施設体験実習（ルピナス支援学校）
	12	木	下請作業（宮崎食研）（宮王設備工業）施設体験実習（ルピナス支援学校）
	13	金	音楽・下請作業（宮崎食研）・施設体験実習（ルピナス支援学校）
	14	土	施設へ土曜学校参加・下請作業（宮崎食研）
	16	月	音楽
	17	火	運営委員会・白状歩行
	18	水	音楽
	19	木	調理実習（ドラ焼き）
	21	土	職員会（ふれあい・地域福祉課）・農福連携マルシェ作品販売
	23	月	音楽・買物（喫茶おやつ）
	24	火	施設内でゴスペルコンサート鑑賞・ふれあい会・誕生会
	25	水	ドライブ
	26	木	職員会（法人）
	27	金	歯科往診（宮崎歯科福祉センター）
30	月	音楽・スポーツレクリエーション準備	

	31	火	点字学習
11月	1	水	音楽・研修委員会
	6	月	音楽・新任教育研修
	7	火	白杖歩行・下請作業（宮王設備工業）
	8	水	作品販売（サンリッチ敷地内）・新任職員研修（視覚障害者支援について兒玉職員）
	9	木	ドライブ
	10	金	スポーツレクリエーション準備
	11	土	スポーツレクリエーション（アリーナくにとみ）
	13	月	音楽
	14	火	運営委員会・点字学習・認知症高齢者グループホーム交流会（こすもす） 下請作業（宮王設備工業）
	15	水	音楽
	16	木	調理実習（クレープ）・下請作業（宮崎食研）・地域福祉コーディネーター連絡会
	17	金	下請作業（宮崎食研）
	18	土	職員会（ふれあい・法人・地域福祉課）・下請作業（宮崎食研）
	20	月	音楽
	21	火	白杖歩行・下請作業（宮崎食研）
	22	水	ふれあい会・誕生会・クリスマスツリー点灯式
	24	金	音楽・下請作業（宮崎食研）
	27	月	音楽・ワークショップミュージアム参加
	28	火	点字学習・活動体験
	29	水	レクリエーション（施設多目的ホールにて風船バレー）・職員面談
30	木	ドライブ・職員面談	
12月	1	金	健康観察・活動体験
	4	月	音楽
	5	火	白杖歩行・活動体験
	6	水	日産労連招待劇団四季ミュージカル観劇「嵐の中の子どもたち」
	7	木	リンゴ贈呈式（JA 五所川原）
	8	金	宮崎柳丸キリスト教会にてゴスペルコンサート参加
	11	月	音楽
	12	火	点字学習・大掃除
	13	水	作品販売（A コープ国富店）・活動体験・職員面談
	14	木	職員面談
	15	金	クリスマス準備・リハビリテーションカンファ
	16	土	クリスマス会・活動体験
	18	月	音楽
19	火	白杖歩行・調理実習（クレープ）・下請作業（宮崎食研）	
20	水	音楽・下請作業（宮崎食研）	

12月	21	木	下請作業（宮崎食研）
	22	金	ふれあい会・ビデオ鑑賞
	25	月	音楽
	26	火	点字学習・ドライブ・工賃支払（2回目）
	27	水	音楽
	28	木	職員会（ふれあい・法人・地域福祉課）
1月	5	金	健康観察・
	8	月	農福連携マルシェ作品販売
	10	水	ドライブ・体験実習・職員面談
	11	木	体験実習
	12	金	音楽・体験実習
	15	月	音楽・支援区分調査
	16	火	点字学習
	17	水	研修委員会・音楽・下請作業（宮崎食研）
	18	木	下請作業（宮崎食研）・カンファレンス出席
	19	金	白杖歩行・音楽・下請作業（宮崎食研）
	20	土	職員会（ふれあい・法人・地域福祉課）・研修（強度行動障がい）
	22	月	音楽・下請作業（宮崎食研）
	23	火	白杖歩行・下請作業（宮崎食研）・研修（歯の健康）
	24	水	リハビリテーション計画カンファ・ふれあい会・誕生会・鍋会食（すき焼） 下請作業（宮崎食研）
	25	木	地域福祉コーディネーター打ち合わせ・調理実習（白玉ぜんざい） 下請作業（宮崎食研）
	26	金	歯科往診（宮崎歯科福祉センター）・音楽・ふれあい見学（在宅）
	27	土	SKB コンサート
	29	月	音楽
	30	火	点字学習・下請作業（宮崎食研）
31	水	ドライブ・下請作業（宮崎食研）	
2月	2	金	健康観察
	7	水	音楽・下請作業（宮崎食研）
	9	金	ドライブ・支援区分調査
	13	火	運営委員会・ドライブ・下請作業（宮崎食研）
	14	水	音楽・下請作業（宮崎食研）
	16	金	音楽
	17	土	職員会（ふれあい・法人・地域福祉課）
	19	月	音楽
	20	火	白杖歩行
	21	水	音楽
	22	木	調理実習・施設体験実習
	23	金	ふれあい会・誕生会
	24	土	農福連携マルシェ作品販売（アポロの泉）

	26	月	音楽・ケア会議
	27	火	避難訓練（地震・火災）・綾町雛山まつり販売・見学
	28	水	点字学習
3月	2	金	綾町雛山まつり販売・見学
	3	土	綾町雛山まつり作品販売・見学
	5	月	音楽
	6	火	ドライブ・白杖歩行
	7	水	音楽・体験実習（在宅）・職員新事業所実習
	9	金	ドライブ・施設見学（つむぎ）
	12	月	運営委員会・B型事業所見学・音楽
	13	火	職員会（ふれあい）
	14	水	点字学習・焼き肉会
	15	木	新事業所つむぎ体験実習
	16	金	音楽・新事業所つむぎ体験実習
	17	土	職員会（法人・地域福祉課）
	19	月	音楽・新事業所つむぎ体験実習
	20	火	白杖歩行・新事業所つむぎ体験実習
	22	木	新事業所つむぎ体験実習
	23	金	音楽・新事業所つむぎ体験実習
	26	月	楽器施設に移動
	27	火	新事業所つむぎ体験実習
	28	水	ふれあい会・誕生会・工賃支払・新事業所つむぎ体験実習
	29	木	点字学習
30	金	新事業所つむぎ開所式利用者出席（3名）	

【活動総括】

今年度も宮崎市内や国富町、綾町にて販売を行いました。その事で、利用者の方が製作した作品がたくさんの方にお買い求めいただき、「こんなにきれいに作って、素晴らしいですね。」等の声もたくさん聞かれました。また29年度は、新たな販売先（エコーブ国富店）も開拓しました。

作品展示販売先の〈菜菜館〉と〈こもれび〉においては売上が伸び悩むこともありましたが、利用者の方が毎月作品補充に行く事でお店の方と関わりをもち、地域交流にもなっていました。

年間3回（8月・12月・3月）の工賃の支払いでは、それぞれが頑張られた証しを手にする事で、更に活動意欲の向上につなげることができました。生産的活動2年目を迎え、ますます販売を意識した作品製作を行う事ができました。また下請作業では、宮崎食研の作業依頼が増え、視覚障がいのある利用者でも、職員が作業できるように配慮する事で参加する事ができました。また、普段、下請け作業は難しいと思われていた利用者も、キャップはめに関しては職員の確認の下、楽しみながら取り組むことができました。キンカンの葉カット作業においては、ハサミを使い、葉を斜めにカットするという技術を要するため、特定の利用者で行いました。また、平成30年度より新事業所、就労継続支援B型へ移行する利用者にとっては、意欲や励みに繋げることができました。移行前の2月からは期待と不安で利用者の精神面での支援が必要でしたが、3月に実際、作業の体験実習を行った事で、イメージもでき安心した様子も窺えました。また、宮王設備工業での下請作業は、業者の都合で回数も減り、後期にはほとんど作業がありませんでした。

●年間販売状況と売り上げ一覧 表販売会での状況のみ記載しています。(個人や、展示販売等以外)

月 販売会名	肩たた き棒	布ペン 立て	鍋敷き	ポチ袋 しおり	ビーズ・小物入れ 写真立て・観葉植物	売り上げ 合計金額
単価	200円	250円	200円	100円	200円～400円	
4月						
5月						
6月						
7月 第1回わくわく市	76	14	3	16	4	21,500円
アビリンピック	22	10	2	15	5	10,300円
エデンの園家族会	14		5	11	9	7,600円
8月 24時間テレビ	28	10	4	9	2	10,400円
九州電力	25	5	2	7	3	8,250円
第2回わくわく市	70	12	3	19	5	21,000円
9月						
10月 国富町社協祭り	15	9		2	5	6,950円
農福連携マルシェ	18	6	1	5		6,000円
第3回わくわく市	25	10	3	6	2	9,300円
宮崎中央支援	13	4	1	10	4	6,000円
11月 サンリッチ	7	5		2	1	3,150円
12月 エーコープ	4	4	4	12	3	4,700円
1月 農福連携マルシェ	19	3	5	4	5	7,450円
2月						
3月 綾灘山まつり	14	2	1	5	3	4,900円
農福連携マルシェ	18	7	6	17	11	11,550円
○収入合計 291,813円	●支出合計 104,170円			◎差引売上金合計 187,643円		

・毎回、作品の目標個数を具体的に立て、ゆとりをもって用意しました。

【活動】

活動名	「絵画工作・ビーズ」	担当：日高・川辺
活動内容	絵画、貼り絵、紙切り、アイロンビーズ。	
活動状況	利用者の選択により、クレパス絵画や貼り絵を楽しまれました。また、アイロンビーズを時々行いました。	
活動実績	楽しみながらの創作的活動の域であった為、生産的活動には至りませんでした。利用者が好きな活動に携われ、気分転換に繋がったようでした。	
次年度に向けて	次年度の活動は創作的活動や情緒的活動が中心になる計画であるため、以前のように同活動(上記種目等)に加わる利用者が増え、販売に追われず活動そのものを楽しんでいただけることと思います。	

活動名	「運 動」 担当：日高・兒玉
活動内容	健脚歩行とストレッチ（雨天時）
活動状況	朝、来所後に活動の内容を説明し、運動の日は、特に肥満傾向のある利用者を中心に参加を促すと共に、他の利用者についても体力が低下しないよう万遍なく参加できるよう配慮しました。
活動実績	これまでの町運動公園やエコクリーン公園に加えて、8月以降は新体育館「アリーナくにとみ」の広場や館内2階通路で、天気や季節に関係なく健脚歩行を行うことができました。週一回でしたが、年間通して比較的コンスタントに運動量が確保できるようになりました。また、利用者も車で移動するという事と新しい体育館内を歩くという環境の変化がよかったのか、参加する利用者も増えたので、職員の配置でも配慮しました。
次年度に向けて	年々年を重ねていく各利用者の体力の維持を考えると、次年度は運動の回数を増やすと共に、現地までの移動時間（運動に費やせる時間）を考えると、地域資源の「アリーナくにとみ」を最大限に活用していく必要があると思われます。

活動名	「オブジェ」（ペン立て・鍋敷き） 担当：川辺・甲斐・日高・兒玉
活動内容	布ペン立て、鍋敷き、クリスマス作品、カレンダーボード、写真立て、ポチ袋、しおり、メモ帳、牛乳パック椅子等の作成とわくわく市等での販売
活動状況	不用になったカメラのシート芯（筒状の厚紙）、広告紙で作ったこより、点字紙、牛乳パック等の素材を使って、殆どの利用者がどこかの作業に携わって作品製作を行いました。マイペースで楽しみながら製作に励まれていました。
活動実績	【販売先】 製作作品をわくわく市（イオンで年3回）、UMK、農福連携マルシェ（アポロの泉広場）、支援学校等で販売を行い、来客者、家族、利用者、職員等に購入して頂きました。 全体を通して製作作品の幅が広がり、多種の作品を様々な所で販売でき、売上報告や工賃支給等により、利用者への励みと活動に対する意欲に繋がりました。
次年度に向けて	次年度は、生産的活動から以前のような創作的活動に変更になりますが、機会があれば製作を続けながら、29年度までの作品も含め、販売等にも参加できればと考えます。

活動名	「軽作業（園芸など）」 担当：日高・兒玉
活動内容	ふれあいと隣家とのフェンス垣根の剪定後の片付けと玄関プランター作り
活動状況	主に「草集め」や「花の苗植え」を行い、参加された利用者は意欲的に手伝われました。
活動実績	生産的活動というより、環境整備の一環として環境美化が図れました。
次年度に向けて	「天候（夏の暑さ等）や生産的活動（販売に伴う作品作り）との兼ね合いで、なかなか園芸（花の苗植え）に携わっていただくことができませんでした。」 次年度は主に創作的活動や情緒的活動が中心になるため、同作業を選択される利用者が増え、外作業に伴う楽しみの幅が広がると良いと考えます。

活動名	「肩たたき棒」 担当：川辺
活動内容	筒状の布の中にチラシを丸めたこよりを詰めての肩たたき棒作り
活動状況	ミシンがけ、アイロンがけ、こより作り等、それぞれが出来る工程を意欲的に作製されました。
活動実績	わくわく市（年3回）、UMK、農福連携アポロの泉広場、支援学校等で販売し、来客者、家族、利用者、職員が買っていました。主力商品の一つでもあり、販売後は利用者の方に売上を報告する事で、意欲向上にも繋がっていたようでした。
次年度に向けて	「販売先では、「前に買ったよ。」と言われる方が数人おられました。そこで、布の柄もバリエーションを増やし、季節に応じた色や柄にも気を付けました。その事で、売上にもつながっていたようでした。」今後も、流行りの柄等に気を配りながら作成していきたいと思えます。

活動名	「音楽・コンサート」 担当：甲斐・川辺
活動内容	月曜と水曜に歌や楽器、リズムの練習を行う音楽活動 コンサートへ向けての練習
活動状況	それぞれにパートの意識も芽生えてきて練習を楽しまれました。練習に励むことにより地域社会の一員としての意識も高まり、生きがいに繋がっているようでした。
活動実績	① 10月5日：全国盲重複障がい者福祉施設研究大会（ウェルシティーホテル）アトラクションコンサート参加5曲を演奏。 ② 12月：クリスマス会で演奏 ③ 1月27日：ふれあいコンサート 保護者、ホーム職員、地域住民に呼びかけてふれあいの中でコンサート開催。10人程度来館。 ④ 9月5日：さくら苑ミニコンサート開催 ⑤ 11月14日：田中外科グループホームこすもすミニコンサート開催
次年度に向けて	「コンサートに向けてしっかりと練習を行い、それなりの練習成果を発揮されたと考えます。利用者、職員が一つとなる音楽活動グループを目指したいと思えます。」

活動名	「買物・調理」 担当：兒玉
活動内容	毎月1回の調理実習を行い、その都度、材料の買い物にも行きました。
活動状況	利用者の中から作業ができる方を選抜し、ローテーションで2名から3名が参加しました。職員がメニューを決め、材料は利用者も一緒に買いに行きました。
活動実績	カップケーキやぜんざい、ゼリー、クッキーを作りました。 クッキーは500枚焼き、5枚入りを100セット作って家族会で販売しました。3月の家族会はインフルエンザ流行のため中止になりました。
次年度に向けて	今後は、簡単な調理実習を取り入れ、利用者が楽しみのできる内容にしたいと思います。

活動名	「ドライブ」 担当：甲斐・兒玉
活動内容	希望者による1台～2台の車を使用する外出
活動状況	利用者の希望を聞き、文化公園・平和台公園・西都原公園・馬事公苑などに行きました。
活動実績	車中では、利用者が個人で持っているCDをかけて歌を聴いたり歌ったりしながらドライブし、現地では、トイレ休憩を含め散策しました。利用者の気分転換になったようでした。特に、馬事公苑が人気がありました。
次年度に向けて	来年度はドライブの回数も増えるため、利用者が楽しめるコースを設定したいと思います。

活動名	「個別学習」(ワーク・白杖歩行・点字学習) 担当：川辺・日高・兒玉・
活動内容	「個別学習」としての白杖歩行と点字学習
活動状況	<p>月2回ずつ(概ね火曜日に)、「白杖歩行」と「点字学習」を交互に実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白杖歩行は、5人中4人は生活圏域の中で活かすことを念頭に、グループホーム(ホームみらい、いこいの家)とふれあいとの往復歩行を実施しました。あとの1人はグループホーム(青い鳥)が遠いため、地域資源の活用からセブンイレブン三名店までの白杖歩行を目標に行いました。 ・点字学習は、五十音を基本に特殊音や拗音を取り入れながら、点字打ちや点字読みの技術と能力アップを図りました。具体的には、季節にちなんだ言葉や行事のプログラム、利用者が関心のある曲名、甲子園出場校等の点字打ちを行い、読みでは利用者自身が打たれた文章や点字版の宮崎市広報、宮崎県視覚障がい者ニュース等の読みを行いました。
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・白杖歩行は、ふれあいまでの通所や外出介護時に、白杖の適切な持ち方等、学習の成果を発揮することができ、実生活での安全がある程度確保されました。 ・点字学習は、手紙(行事の感想や新年の思い、寄贈リンゴの御礼)等で自分の気持ちを相手に伝えることに役立ちました。また、コンサートで披露する曲やクリスマス等のプログラムを打つ事で、行事の流れの把握にも繋がりました。
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・白杖歩行は、ふれあい通所に伴う白杖歩行技術の向上(安全面の更なる確立)が望まれる一方で、一部利用者については年齢的に生活を楽しむという観点から、外出時の白杖の持ち方の使い分けが各場面で適切にできるよう確実性を高めていく必要があると思われます。 ・点字学習は点字打ち等でペースの違いがあり、職員体制上1名しか付けなかった時は、ペースの遅い利用者の支援が十分でなかったため、次年度はできるだけ複数体制で職員が付き、個別に支援することが望ましいと思います。 ・ワークについては、(保護者の要望もあって)参加利用者の左手指麻痺のリハビリが主目的だったため、29年度の「個別学習」からは除外しましたが、今後各種の教材等を使ったワークが有効な利用者が加われば、「個別学習」としての本来の目的に沿った支援が提供できると思われます。

活動名	「下請作業」(宮崎食研)	担当：塩満
活動内容	シール貼り・ボトルキャップ組立・きんかん葉カット	
活動状況	宮崎食研から依頼の電話を受けて作業を行いました。シール貼りやボトルキャップ組立は、視覚障害のある利用者でも行う事ができました。きんかんの葉カットは、職員を増やし、特定の利用者で作業を行いました。	
活動実績	29年度は、業者からの依頼が増えて、計画的に作業をしました。	
次年度に向けて	「29年度は、利用者ができる内容の物を提供していただき、仕上げまでの期間にも余裕があったので、長い期間作業をする事ができました。ボトルキャップ組立の作業を普段できなかった利用者でも行う事ができました。また、シール貼りでも、職員が最初に貼る事で、利用者が簡単に仕上げをする事ができ、効率もよく余裕を持って納品することができました。きんかんの葉カットでは、特定の利用者しかできないため、職員の人数を増やして対応しました。丁寧な作業をする事で、業者からの依頼も増えてきましたが、3月は、新年度へ向けての準備や実習で作業を続けることができませんでした。」次年度は生活介護を中心に行っていくという事で、業者には報告しました。	

活動名	「委託作業」(宮王設備工業)	担当：甲斐
活動内容	宮王設備工業の資材置き場の片付け、清掃、ゴミの仕分けと袋詰め	
活動状況	資材の移動、機械設備用具の水洗い、ペットボトル・ダンボール・空き缶の分別	
活動実績	事業所から連絡があった場合、AM10:00～12:00の2時間、下請作業を実施しました。男子利用者3名、男子職員1名で作業を行いました。年度始めは仕事がありましたが、業者の方が、仕事が忙しいようで、仕事の依頼も徐々に減っていき、後半は仕事の連絡が途絶えてしまいました。	
次年度に向けて	今年度で終了となりました。	

【行事】

行事名	イースター・昇天者記念会	担当：甲斐・日高
実施日時	平成29年4月15日(土)	
参加者	利用者19名、職員8名。	
実施状況	<p>施設との合同で実施しました。前日、職員1名と利用者2名で記念塔清掃しました。当日は、公用車2台と徒歩組に分かれて多目的センターまで行きました。召天者記念会では、野球好きだった男性利用者の生前を偲んで作られた歌「♪赤い野球帽」を施設の代表利用者が歌い、ふれあいの利用者がギター伴奏をされ、会場から拍手喝采でした。</p> <p>全体を通して、参加者はイースター(イエス・キリストの復活祭)の意味を知り、召天者に思いを馳せる機会となりました。</p>	
反省	<p>施設との合同は今年で3回目ですが(前年度は感染症発生に伴い中止)、事前の話し合いや参加の呼かけはなく、施設職員のみによるプログラム設定でした。幸い、1名の利用者が歌の伴奏をされましたが、ふれあいとしてプログラムの中での参加の機会があっても良いと思われます。イースターにおいては、以前のようにふれあい単独で行った方が、メッセージ後の分かち合いの時がもてて良いのではないかと思います。</p>	

行事名	「5月選択外出」	
実施日時	5月10日(水)	
参加者	10日 (水)	利用者：河野憲市・田中一成・横山武義・那須さとみ・川野美幸 職員：甲斐正人・塩満裕子
	17日 (水)	利用者：甲斐正信・米吉正朗・宮本良子・清水真衣・片岡佑太 職員：日高信二郎・川辺宣敬・塩満裕子
	19日 (金)	利用者：矢倉春彦・田辺今朝治・桑山弘和・工藤賢太郎 職員：川辺宣敬・日高信二郎
	23日 (火)	利用者：梅木和久・釘松喜代次・落合剛・梶賢一・佐藤富美子・竹森浩幸 職員：甲斐正人・兒玉妙子・横山尚子
実施状況	10日 (水)	最初にカラオケに行きました。宮崎市内の繁華街にあるスナック「ヒットパレード」にて、カラオケを楽しみました。事前に歌いたい曲が決まっていた方は、順番に曲が流れ自分の番になると楽しそうに歌われました。自分で決められない方には、職員が尋ねながら曲を決めました。演奏が始まると、歌い始めるなど意外な部分を発見する事ができました。また、歌詞が読めない方には職員がコールしました。カラオケボックスとは違った雰囲気、リラックスした表情で楽しまれていました。その後、東天閣で昼食を摂りました。中華を2種類選べるランチを頼み、それぞれ、写真を見たり、職員と相談したりしながらメニューを決め、個室でゆっくり食事ができました。支払はそれぞれ、お金を渡して自分で払っていただきました。その後、一番街のミスタードーナツ店に行くと工事のため営業していませんでしたので、職員判断で加納店に移動し、職員が側について支援する中、飲み物やドーナツを自分で選んで頼んでいただきました。在宅の方は、家族にお土産としてドーナツを選んで買っていました。ゆっくりカラオケの話をしながらティータイムを過ごされていました。
	17日 (水)	エースレーンにて、ボーリングと温泉を楽しみました。ボーリングでは、家族レーンにしてもらい、ボールを転がせる台も借りてゲームをしました。視覚障害者の方も、道具を使う事でボールを投げる事ができました。倒れたピンの数を報告すると嬉しそうに手をたたいて喜んでいました。他の利用者も同様で、ピンが倒れると「倒れた」と声を出して喜んでいました。ゲームが終わって昼食を摂り、その後、温泉に入りました。ゆっくりお湯につかり、露天風呂にも入り、満足そうでした。
	19日 (金)	青島方面のドライブに行きました。青島海岸線を通り潮風に吹かれながら車内では、何気ない日常の会話に花が咲きました。昼食はバイキングで、海の幸や和・洋・中のたくさんのメニューの中からそれぞれが満足いくまで召し上がられていたようでした。 買物もそれぞれが希望するお菓子等が購入でき、笑顔がたくさん窺えました。

	23日 (火)	買物・外食 一人の利用者がCD購入を希望されたためツタヤ大淀店に行き、その他の方は車内で待ちました。その後、宮交シティに移動して買物、食事をしました。買物はそれぞれ欲しい物を聞き、洋服や食品を購入しました。食事は、全員でパスタの店で好きなメニューを選び食事しました。 それぞれ買物ができ笑顔が見られました。
反省・ ステップ		今回の選択外出では、利用者から意見を集めて4つの内容にしました。カラオケも場所を変えたことで、また違った雰囲気の中で楽しむことができました。また、前年度までは温泉だけでしたが、今年度はボーリングというゲームを楽しんだ後にゆっくり温泉を利用することができ、利用者も喜んでいる様子が表情から窺えました。それぞれが、選ぶ事で、毎回楽しみにされていましたので、次年度は年間2回は実施したいと思います。

行事名	サマーフェスタ	担当：川辺・兒玉
実施日時	平成29年7月21日	
参加者	全利用者・職員・家族	
実施状況	輪投げゲームをグループ分けして実施しました。投げた輪の点数で競い合い、みんなで応援しながら楽しいゲームとなりました。その後、昼食は、利用者からのリクエスト、ぶっかけそうめん、具材をトッピングして食べられました。毎年楽しみにしているメニューの一つです。ご家族も数名参加され、利用者の方も嬉しそうでした。	
反省・ ステップ	今年度は、生産的活動を重視し、午前のみで実施しました。利用者は甚平など準備されていましたが更衣をしなかったこと、輪投げゲームをただただでたこと利用者には物足りなかったと考えられます。今後は、前年度のように甚平に着替え、祭りの雰囲気を味わいながら行事が楽しめるように工夫したいと思います。	

行事名	コンサート	担当：川辺・甲斐
実施日時	平成29年10月5日	
参加者	全利用者・職員	
実施状況	全国盲重複障がい福祉施設研究大会（ウェルシティーホテル）が宮崎で行われ懇親会のアトラクションに参加し、5曲を演奏しました。この日のために週2回練習をし、今回は、入所施設の利用者もボーカルを担当して練習に参加していただきました。当日は、ステージでスタンバイし20分～30分程静かに待つことができました。その後、演奏が始まると笑顔で楽しく演奏がで、アンコールにも応えました。	
反省・ ステップ	始まると笑顔になり、特に練習の成果を出して楽しく演奏する事ができました。演奏が終わると、皆さんの表情や言葉から達成感を感じる事ができ、自信につながったようでした。今後も、機会があれば演奏に参加したいと思います。	

行事名	スポーツレクリエーション
実施日時	平成29年11月11日(土)
参加者	利用者20名、ふれあい職員(8名)、グループホーム職員(4名)、保護者・家族(7名)、施設長・地域福祉課長、麦わらぼうしの子供達(10名)と職員(3名)、ボランティア(本庄高校学生7名・先生1名)。
実施状況	国富町の新体育館「アリーナくにとみ」にて実施しました。午前中はエール交換、玉入れ、風船バレーを行い、昼食をはさんで午後は応援合戦、全体リレー(音源走含めて)を行い、最後はソーラン節を皆で踊りました。これまでと違ってとても広い館内で、競技では思い切り体を動かすことができました。特に、本庄高校学生によるボランティアの協力もあり、日頃の応援練習の成果も出ていて大変盛り上がりました。
反省・ステップ	<p>ここ2~3年、年齢的に、またスペース的にレクリエーション的な傾向になりつつありましたが、今回広い場所で思い切り体を動かせ、心身のリフレッシュが図れたことは良かったと思われまます。</p> <p>一方で、行事終了後に利用者からの要望として、「これまであったパン食い競走や行進、若い力の歌もあるともっと良かった」との声が挙がっていました。また、地域福祉課長から「場所は広くて良かった。欲を言えば、地域交流を考えると同時に体育館を利用してバスケットチームの方たちとも何らかの形で一緒にレクリエーションゲームでもできると良かったのでは」との意見をいただきました。</p> <p>次年度、ふれあいは創作的活動に戻り、楽しみを中心に行事等の充実が図られていく事から、上記要望を含めて行事目的の『近隣住民を含めた地域の方々との交流』をさらに推進していく必要があります。そのために、目的をしっかりと押さえた地域への案内(呼び掛け等)と受け入れ範囲内での案内拡充が必要と思われまます。</p>

行事名	劇団四季ミュージカル	担当：川辺
実施日時	平成29年12月6日(金)	
参加者	利用者、家族、支援員。	
実施状況	当日は、観劇の前に時間の関係で4つのグループに分かれ昼食外食をしました。事前にお店を選択していただき、希望するお店で摂り「美味しかった。」等の声が聞かれました。劇では、迫力ある生の歌声と体全体を使ったダンスに歓喜の声もあがり、きらきらとした表情も窺えました。ふれあいの全員で参加し、観劇できたことも楽しみに繋がったようでした。	
反省・ステップ	昼食も12時前の混雑を避けた時間帯に行くことで、比較的スムーズに摂る事ができました。会場は、かなりの人がいましたが、職員間で連携を取り(こまめな点呼等)怪我等もなく楽しむ事ができました。	

行事名	クリスマス会 担当：甲斐・日高（信）
実施日時	平成29年12月16日（土）
参加者	利用者、家族、支援員、ボランティア、地域の方々、牧師
実施状況	午前中はクリスマス礼拝で讃美歌を皆で歌い、牧師より聖書のメッセージを聞き、実施目的のクリスマスの意味を知ることができました。 お昼は保護者や地域の方々と交えて楽しく会食し、午後からは祝会で利用者の出し物、マンドリン&クラシックギターの演奏、職員による2人羽織り、麦わらぼうしの子ども達による歌など楽しい出し物で参加者は楽しまれ、もう一つの目的のイエス・キリストの降誕を共に喜び祝うことができました。
反省・ステップ	保護者4名、来賓6名（地域2名、利用者の友人親子、ふれあい体験者と引率者）の方に参加していただきましたが、次年度は地域住民がもっとたくさん参加されるよう案内に力を入れていく必要があります。プログラム内容については、実施目的の達成を念頭に、今年新たなプログラム（マンドリン&クラシックギター、2人羽織り）も加わりましたので、次年度さらに内容の充実（利用者の出し物の工夫等）が図れると良いと思います。

行事名	コンサート 担当：甲斐・川辺
実施日時	平成30年1月27日 13:30～14:30
参加者	全利用者・職員
実施状況	ふれあいでコンサートを行いました。ご家族やホームの職員、入所利用者とその家族がコンサートを聞きに来られ、利用者も嬉しそうでした。演奏が始まると皆さん集中して演奏をしていました。また、ダンス担当者は赤や青や黄色のボンボンを持って曲に合わせて身体を揺らしたり、立ち上がってダンスをしたりしました。最後には、参加したみんなで歌ったりダンスを一緒にしたりなど楽しいコンサートになりました。
反省・ステップ	コンサートに向けて毎回、皆さん楽しみながら練習をしてきました。本番に強いようで、あまり緊張した様子もなく、演奏をしていました。また、満面の笑顔で歌ったり演奏したり、ダンスを踊ったりしている姿は本当に生きがいに繋がっていると感じました。今後も、地域で演奏する機会を作っていきたいと思います。

行事名	焼肉会 担当：川辺
実施日時	平成30年3月14日（水）
参加者	利用者、家族、支援員、ホーム職員、坂元課長、施設長。
実施状況	3月という事もあり、一年間を振り返りながらの焼肉会となりました。外で食べる炭火焼のお肉にみなさん舌鼓をうちながら、一年間を振り返っての話題に満足のいく会食になったようでした。火傷や、食べ過ぎで体調を崩される方もなく、終始楽しい中に終える事ができました。
反省・ステップ	肉類と野菜類を別の業者に発注したことで、皆さんからも「美味しかった。」という声がたくさん聞かれました。予算のわりに野菜の量が多かったため、次回からは、その分の予算をおさえるか、肉類にまわす等もよいと思われました。 準備段階で、椅子とテーブルの運び方に時間を要すると想定されましたが、職員と利用者間の連携がうまくとれ、時間通りに開始することが出来ました。 4グループに分かれて行った事で、焼き方、つぎ方等もスムーズでした。

【レクリエーション】

●一年間を通しての報告

月日	内容	状況・反省など	担当者
6.14	空き缶積立てゲーム	空き缶をテーブル上にどれだけ高く積めるかをペアで競い合いました。沢山積み上げたと思ったら崩れ、逆転されるなど、歓声と共に盛り上がりました。	兒玉日高
8.30	焼肉ジャンケン	4つのグループに分かれ、焼き肉に必要な材料6種類の絵カードをジャンケンで勝ったグループがもらえる内容です。ジャンケンに勝ち、次第に材料が揃っていくのが楽しかったようで、白熱したレクリエーションになりました。材料を増やすと良かったと思われました。	川辺
9.27	バスケットゲーム	柔らかいボールで室内をドリブルで一周し、その後にカゴを持った利用者に投げ得点を競いました。受ける側の利用者はなんとかして取ろうとする気持ちが大きかったようです。	甲斐兒玉
11.29	風船バレー	この日は利用者中心だった事もあり、先日のスポーツレクリエーションより盛り上がりました。反省点として、準備段階でネットの張り方を周知する必要性がありました。	日高
2.28	すごろく人生ゲーム	3グループに分かれ、サイコロを使って柵目を進んで行くゲームです。途中、クイズや所持金が貯まる等の楽しみ方も取り入れ盛り上がりました。クイズの内容を幅広くしていくともっと面白かったと思われました。	川辺兒玉

【防災訓練実施状況】

① 防災(地震及び火災)訓練計画、実施による自衛消防体制の確立

② 災害時の避難誘導體制の連携と確立 ※ 第一避難所 裏駐車場

日時	訓練種目	想定	目的	実施状況
29.6.26	消火台帳搬出避難	地震(日向灘沖地震 震度6)	避難誘導體制の確立。あらゆる災害が発生した時の動きの確認	避難完了:開始から5分45秒(メガホン使用する) 利用者は、あわてず冷静に避難できていました。
30.2.27	消火通報台帳搬出避難救出防火教育	地震火災(南海トラフ、マグニチュード9、震度5強)	避難誘導體制の確立。避難経路を確認し、災害への備えとする。	・避難完了:第一避難所8分18秒⇒第二避難所15分40秒。 ・利用者は全体的に落ち着いて避難できていましたが、笑い声が聞かれる等やや緊張感に欠けていました。また、車椅子を出しやすい場所に置く必要があること等、終了後にたくさんのお意見が出、改善に繋げていく必要がありました。

※ ヘルメット3個、担架1台、メガホン2本を活用として実施しました。

※ 避難誘導後、PCデータ等搬出しました。

※ 消火器2本を火元に持って行き実際に備えました。

5-2. 平成29年度エデンの園グループホーム

チーフ 町田紀恵

【総括】

平成29年度は、定員23名の利用がありました。

5月、利用者の無断外出が発生し、法人職員、警察、地元消防団の協力により無事発見することができました。その後は、利用者の状態観察を行い、勤務交代時は利用者と必ず顔を合わせるようにしました。

7月、九州地区地域生活者交流会が宮崎観光ホテルで行われ、会議に28名の利用者、交流会に23名の利用者が参加し楽しめました。

新しいグループホームの設立に向け、土地の確保、建物のデザインなどの準備を行いました。

職員の利用者に対する虐待疑いの事案が2件発覚しました。権利擁護については毎月グループホーム職員会時に研修を行い、職員全員で共通認識をもっていたつもりでしたが、このようなことになり深く反省させられました。利用者に対して丁寧な仕事を心がけたいと思います。

【平成29年度の重点目標について】

① 運動の推進

休日の余暇時間を中心に散歩や散策、ルームランナー、自転車漕ぎ、体操、ダンス等を行いました。運動をすることで気分転換になり、脚力の維持ができました。体重増加傾向にある利用者には負荷をかけるまでの運動を取り入れることはできませんでした。今後は生活介護事業所の協力を仰ぎ、運動をしていきたいと思えます。

② 感染症予防

トイレ使用後や食事前に手洗いを促し、消毒を行いました。手洗いについてはアセスメントを取り、現状を把握しました。手洗いの意識は高まりつつありますが、実際の手洗いが不十分であり、職員の言葉かけが必要でした。

2月にインフルエンザB型が発生し、1名の利用者、3名の職員が罹患しました。利用者はもちろん、職員の健康管理にも十分気をつける必要があると感じました。

③ 余暇の充実

休日はドライブや散歩、お菓子作りなどを行い、個々にあった楽しみ（テレビ、ラジオ、CD、ボール遊び、会話など）を提供しました。楽しく参加されている利用者もいましたし、参加されずに一人で余暇を過ごされる利用者もいました。

【職務内容】

1. 個別支援計画

生活支援員と連携しながらサービス等利用計画を元に個別支援計画を作成しました。

月まとめの遅れ、報告書の遅れから個別支援計画も遅れ、同意も遅れてしまいました。日々の記録を充実し、計画が遅れることのないよう意識して作成する必要があります。

2. グループホーム会議

グループホーム職員会は開催日を7日（週末の場合は6日か8日）に2時間の予定で開催しました。利用者支援の課題、権利擁護研修（職員持ち回り）、マニュアルの確認、連絡事項など話し合い、充実した会議を開催することができました。

世話人会を6月と3月に実施し、権利擁護研修と支援の確認などを行いました。全職員に権利擁護研修を行ったことで、利用者主体の支援について理解していただけたのではないかと思います。世話人と夜勤専門員と別日で開催しましたが、ホーム毎の会議も必要だと感じました。

グループホーム家族会を6月と1月に開催しました。6月には無断外出の報告や九州地区地域生活者交流会が宮崎で開かれ参加することをお知らせしました。1月には生活費見直しについて説明し、重要事項説明書の変更を行いました。また、第3土曜の家族会の後にグループホーム懇談会を設けて近況報告などを行いました。

<権利擁護研修>

月	職員名	内容
4月	山手	高齢化に向けての権利擁護
5月	海野	利用者の権利・職員の権利
6月	町田	事例から権利擁護を考える
7月		
8月	高山	職員の休憩と利用者の権利
9月	町田	虐待防止チェックリスト
10月		
11月	森崎	新聞の記事から「できることで笑顔に」
12月	長田	支援を振り替えて
1月	高山	「虐待の境を考える。グレーゾーン！」
2月	町田	苦情対応
3月	福島	金銭管理・家族支援

4月は法人全体の権利擁護研修も行われました。

2回目の虐待防止チェックは世話人会の中で行いました。

3. 衣類提供

個々にあった衣類を準備して提供し、衣替えも行いました。TPOに合った服装に配慮し、破れた服は繕い、汚れている服は洗濯し、清潔を心がけました。購入は外出介護時に依頼していましたが、サイズが合っていないことがありました。外出介護事業所には報告をあげましたが、職員の方での購入を考える必要があります。

4. 食事提供

各ホーム、利用者の健康状態に合わせ、また時には希望を取り入れながら、それぞれの世話人が工夫を凝らして調理に当たりました。栄養のバランス考慮し、季節の物、バラエティに富んだメニューを提供するように心がけました。利用者が苦手な物については別な物に代えたり、量を減らしたりして提供しました。殆どの利用者が「おいしい。」と言って完食されていました。

野菜高騰から、食材料費が足りなくなるホームがあり、見直しを行い、18000円に統一しました。利用者の健康面（糖尿病）や高齢化などを考えると食事の提供には課題があり、宅食サービスの利用も必要と考え、業者を選定して試食を行いました。

5. 住環境

快適な生活ができるよう清潔を心がけ、掃除を行いましたが、行き届いていないことがありました。平成30年度から勤務を早出と遅出体制にすることで、少しは改善される事と思います。修繕の必要な箇所は修繕を行いました。

6. 健康管理

健康診断、がん検診など希望により実施しました。異常があった利用者は再検査を行い、2名の利用者が糖尿病の再発のため服薬を開始しました。

手洗いアセスメントを行い、状況を把握しました。手洗いを意識して行い、ピュアスター消毒を実施することにより感染症の発生は殆どありませんでした。2月にいこいの家で1名インフルエンザの発生がありましたが、他のホームではありませんでした。利用者に感染症の疑いが出た際、通院引率職員と他利用者の把握職員が必要となり職員配置が大変でしたが、ホーム間で協力し合いました。

利用者の日常的な健康管理のため、エデンの園が配置する看護師と連携体制が取れ、グループホーム利用者の日常の健康状態を把握、管理すると共に、生活支援員、世話人等、グループホーム職員への健康管理面の指示、指導を受けました。

7. 金銭管理

生活費、個人預金の出し入れ等は指定の曜日に行うことができました。領収証の整理やチェックが遅れることがありました。

働き方改革の一つとして台帳の置き場所をホームにしたいとの意見が出ました。新年度から実行できるよう案を出し合いました。

8. 外出介護の調整

利用者に多くの体験をしていただくことを考え、生活支援員がパンフレットを集めたり、インターネットを利用したりして情報を収集しました。また、向陽の里からも情報を得ました。ラジオやテレビから情報を得る利用者もおられました。同じ所を希望される方においては、情報を伝えアドバイスしました。

	内 容
買 物	イオンモール宮崎 イオン南宮崎 カリーノ 都城ミエル ヤマダ電気 都城イオン 延岡イオン
観 光	青島神社 ことものくに 堀川運河 霧島ファクトリーガーデン のじりこびあ フローランテ宮崎 フェニックス動物園 道の駅フェニックス 生駒高原 えびの京町温泉 飫肥城
施 設	エースレーン ラウンド1 宮崎科学技術館 大淀川学習館 いのちの水キリスト教会 霧島キリスト教会 宮崎駅 宮崎空港 宮崎視覚障害者センター 明星視覚支援学校 コロッケ倶楽部 アートセンター 宮崎神宮 一ツ葉稲荷神社 清武レイクサイドファーム
行 事	(コンサート等) 宮崎市民文化ホール メディキット県民センター 市民プラザ (スポーツ大会・観戦等) 宮崎県総合運動公園 生目の杜運動公園 国富町体育館 宮崎県体育館 宮崎市総合体育館 (祭り) 町民祭 向陽祭 青島裸まつり 延岡今山大師祭り
食 事	ジョイフル ラーメン定 つかさ亭
その他	墓参り 健診 (国富健康保健センター)

外出介護利用人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ人数	23	24	22	23	18	21	16	24	23	22	22	23
契約者数	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22

台風で中止になる時もありましたが、月末だと延期が難しいためです。

9. 関連機関との連携

職場訪問は定期的でなく、必要時に行うのが現状でした。利用者の仕事ぶりについて雇用主と話をすると普段とは違った面も見えました。ホームでも挨拶の練習などを行い、よりよい就労に結びつけました。交通マナーについては社長さんからも指導をして頂きました。

国富町の「ふれあいレクリエーション」には全ホームの利用者が参加しました。三名地区防災訓練にはホームみらいの利用者といこいの家の利用者が参加しました。「きれいなまちづくりボランティアのつどい」はいこいの家の利用者が参加し、国富町内のゴミ拾いをしました。

10. 苦情解決

利用者の苦情は「職員に話したり、自治会で意見として上げたりしてください。」と伝えていますが、直接話されることの方が多ようです。多くが、利用者間のトラブルが原因でした。

利用者が近隣宅の樹木を倒したことに對してホームに苦情がありました。

はびねすの窓の利用は6月2名、2月1名でした。

11. 危機管理

平成29度に提出された報告書は、ヒヤリハットが3件（鍵返却忘れ、電気ポット空焚き、財布紛失未遂）事故が7件（投薬忘れ3件、投薬ミス2件、無断外出、財布紛失）でした。実際の日常生活では報告書作成までに至らないものが数多くあると考えられます。利用者のトラブルや気分の高揚の事例でも、早目の適切な対処や利用者の特性の理解など職員の対応によって防げるものがあるように見受けられます。

12. 防災

年6回の実施を決めていますが、毎月10日を目安に実施しました。1番心配なのが職員不在時や就寝時の災害です。夜間を想定して行いましたが、実施が日中では様子が異なるので、なかなか実感がわかないと思われます。

ホームみらいと青い鳥は消防法にのっとり年2回、防災訓練計画書を消防署に提出し訓練を行いました。三名地区の防災訓練にホームみらいといこいの家の利用者、職員が参加しました。職員も毎月の防災訓練を有効に活用しつつ、ポイントを抑えた避難誘導の仕方を身につけていきたいと考えます。

ホーム名	実施回数	内容			
ホームみらい	12回	火災 6回	地震 5回	その他 1回	
いこいの家	12回	火災 3回	地震 9回		
のぞみの家	12回	火災 6回	地震 5回	総合 1回	
青い鳥	10回	火災 6回	地震 2回	その他 2回	

13. マニュアル

グループホーム職員会で担当が利用者のプロフィールを作り、特性を理解し共有するようにしました。職員の業務内容、防災などのマニュアル作りに取り組みましたが、様式が各ホームで違っていたため、統一した様式で再整備する必要があります。

14. 入退居、契約

H29年2月より食材料費の変更に伴い契約を結び直すことになりました。退所者はなく、平成30年3月現在の利用者数は男性19名、女性4名です。

15. 利用者の請求事務

グループホーム利用料は総務からあがった時点で手続きを行ない、スムーズに事務処理を行いました。家賃助成や医療費助成の手続きも行いました。

3名の利用者が通院の為、介護給付費支給対象外サービスを利用しました。

【年間行事について】

月	年 間 行 事
4月	
5月	7日(日) 宮崎県障がい者スポーツ大会・ボウリングの部 14日(日) 宮崎県障がい者スポーツ大会 9日(火) 町検診 1名 17日(水) 町検診 7名 18日(木) 町検診 11名
6月	10日(土) 青い鳥総合防災訓練 17日(土) グループホーム家族会 21日(水) 世話人会 28日(水) 世話人会(夜勤専門)
7月	15日(土) 九州地区地域生活者交流会 27日(木) ホームみらい総合防災訓練
8月	15日、16日、22日、23日、25日 肺がん検診 27(日) きれいなまちづくりボランティアのつどい
9月	11日(月) 町検診 2名 24日(日) 宮崎市障がい者スポーツ大会
10月	28日(土) ふれあいレクリエーション
11月	19日(日) 三名地区防災訓練 25日(土) 青い鳥総合防災訓練
12月	3日(日) 望年会、焼肉会
1月	20日(土) グループホーム家族会
2月	
3月	9日(金) 世話人会 15日(木) ホームみらい総合防災訓練 20日(火) 世話人会(夜勤専門)

5-3. エデンの園相談支援事業所総括

チーフ 長友 真佐子

【総括】

相談支援事業が始まって丸4年が経ちました。今まで、相談支援専門員の体制が主に専任1名、兼務1名の2名体制で行われてきましたが、9月には経験のある相談支援専門員を1名迎え、専任2名体制で本格的に活動を始める事ができました。経験者であった為、入職時の研修も短期間で済み、早めの稼働ができた事で新規利用者との契約や計画作成、事業所変更希望の利用者との契約変更等にも速やかに対応し、相談を受ける事ができました。つまり専任2名体制で事業を実施できた事で、障がい者総合サポートセンター（宮崎市中心）や綾町、国富町、西都市を中心に営業活動もでき、新規利用者36名（成人20名・児童16名）との契約や事業所変更を希望した利用者の相談を断ることなく受ける事ができました。一方、契約を結んではいるものの、障害福祉サービス利用の希望がなかったり、必要性がなかったりする一般相談としての契約の方も内8名おられ、今年度の計画稼働者は、成人132名・児童31名、合計163名でした。

2年目を迎えた障がい児支援利用援助事業に関しては、まだ経験や知識も乏しく、手探り状態ではありますが、学校との連携、情報共有も件数的には少ないもののケア会議等を実施できたケースもありました。

事業開始以来の課題である、障害者支援施設エデンの園の入所者、またその家族等にサービス等利用計画の意義や相談支援専門員の役割が未だ多くの方に浸透していないことが懸案事項の一つです。

在宅の利用者に関しては、上記したように、契約は交わしたものの、相談だけや計画案を作成しても福祉サービス利用に繋がらないケースも数件ありました。要因としては、利用者の身体状況や精神状態によるものでした。また、サービス等利用計画が稼働している方においては、計画支給期間途中での身体状況の変化、家族環境の変化等により支給量変更希望が昨年よりも増え、計画変更を行ったケースがありました。

児童に関しては、放課後等デイサービス麦わらぼうし利用希望の方が当事業所を選択されるケースとそうだんサポートセンターおおぞらからの依頼で、当事業所から近い宮崎市内の方を紹介していただくケースとがありました。懸案事項としては、関係機関、特に学校との連携を図れたケースがまだまだ少なく、当事業所の目標である「連携」が充分ではありませんでした。

1. 基本相談に関する事

昨年同様、利用者自身の現状報告や計画に関する事以外の相談等も多く寄せられました。時折、命に係わる相談等がありましたが、緊急に訪問したり、電話で話を聞いたり、サービス提供事業所、訪問看護事業所との連携により、大事に至る事はありませんでした。

2. 契約に関する事

前年度に引き続き国富町役場や障がい者総合サポートセンター、そうだんサポートセンターおおぞらからの紹介だけでなく、29年度の特徴としては綾町役場からの紹介が増えました。前年度に比べ、当事業所の名がより浸透しつつあることを感じました。契約者の中には、今まで同様、契約は交わしたものの、福祉サービスの利用は必要がなく、定期的な相談、必要時の相談など一般相談で対応した方も数名おられました。

3. サービス等利用支援（サービス等利用計画）・障がい児支援利用援助（障がい児支援利用援助計画）に関する事

今年度は、年度途中から相談支援専門員が専任で2名体制をとったことにより、迅速に新規の計画作成を行う事ができました。また、今年度の一番の特徴は、計画支給期間途中の変更申請が増えたことが挙げられます。理由としては、利用者本人の身体状況、生活環境の変化によるもの、介護、支援をしている家族の身体状況、生活環境の変化、そして、当法人が開所する就労継続支援 B 型事業所つむぎ利用希望に伴う支給変更によるものでした。計画作成の件数としては、成人の方のみを比べると、前年度より 31 件減っていますが、今年度は、障害者支援施設エデンの園を利用されている多くの方の計画更新がなかったことによるものでした。一方、児童に関しては、放課後等デイサービスの利用希望者が増えたことやそらだんサポートセンターおおぞらからの紹介もあり、前年度に比べ、21 件の増加でした。

4. 継続サービス利用支援・継続障がい児利用支援援助（モニタリング）に関する事

昨年度同様、計画の変更に伴い、当初予定されていた件数より、モニタリング回数の増加がありました。モニタリングは、できるだけサービス提供事業所に出向き、担当者から直接話を聞いたり、ご本人の利用時の様子を見せていただいたりして、モニタリング報告書の作成を行いました。

5. その他

・事故報告～1 件

自宅訪問時に利用者（児童）が転倒し、顔面を裂傷。通院し、治療を行いました。

・ヒヤリハット～0 件

・苦情～1 件

契約事業所変更の際、国富町役場と当事業所、今までの事業所との連携が上手く行かず、役場のいうとおりに動く事業所であると非難を受けました。

今後、相談支援事業所変更を希望される方がおられた時には、役場からの依頼であっても、再度、当事者と直接意向確認を行うようにしました。

※契約終了者に関しては、県外転居、宮崎市内への転居、措置入所によるものでした。

●平成29年度 相談支援事業集計									
【成人】					【児童】				
	契約者	計画作成	モニタリング	契約終了		契約者	計画作成	モニタリング	契約終了
4月	1	9	5	0	4月	0	0	6	0
5月	1	3	10	0	5月	1	0	3	0
6月	1	1	6	0	6月	3	4	3	0
7月	1	16	31	0	7月	1	15	3	0
8月	2	9	25	0	8月	0	0	1	0
9月	1	12	20	2	9月	1	0	1	0
10月	3	10	6	0	10月	2	1	2	1
11月	2	4	11	0	11月	1	2	0	0
12月	2	5	16	0	12月	0	5	5	0
1月	2	2	14	0	1月	0	1	3	0
2月	3	7	15	0	2月	4	0	1	0
3月	1	2	13	1	3月	3	7	0	0
合計	20	80	172	3	合計	16	35	28	1

5-4. 放課後等デイサービス麦わらぼうし

チーフ 寺田法子

【総括】

平成 29 年度が始まり、順調に新規契約が増えていきました。それに伴い、送迎に必要な職員の人数が足りなくなりましたが、勤務調整で対応しながらなんとか乗りきりました。6 月末には職員の知り合いや施設実習生に声を掛けて夏休みの長期期間中のアルバイトを確保しました。また、8 月より常勤一名が加わったことで体制が整いました。

11 月の一周年を迎える前に、事業所・家族向けの評価表を作成しました。「家庭や学校では味わうことのできない体験ができて満足している」といった家族の満足度や支援方法に関する疑問や意見を確認することができました。職員自身も活動経験がない中での手さぐり状態で少しずつ見通しをもてるようになり、一つひとつの支援に意味を見出したりすることができるようになっていきました。職員の前向きな支援姿勢が児童の発達や成長に繋がったと感じています。

また、新たに綾町在住児童の問い合わせがあったことから、綾町福祉保健課と綾小学校へニーズ調査に行きました。対象児童は多くはないとのことですが、福祉サービスが少なく、放課後等デイサービスのような児童の福祉サービスがあることを知らない方がいるのではないかと思います。さらに、綾町は送迎距離が遠いことから、受け入れる宮崎市の事業所はほとんどなく、H30 年度は対象地域を綾町まで拡大する方針を立てました。しかし、2 月末より町内の児童の問い合わせも増え、放課後等デイサービスふぁくとりクラブも定員がいっぱいで、新規の受け入れが厳しい現状です。療育を必要とする児童や家族へ適切なサービスを提供する為にも、今後、新たな事業所の可能性を視野に入れながら、周辺地域を対象にした実態調査を行っていく必要があると思われま

【H29 年度の重点目標について】

- ① 利用児や家族のニーズに応じた支援を提供し、満足度に繋がります。

成長や発達段階によって、学童期の児童のニーズは異なりますが、興味や関心に個人差があるだけで、一人ひとりが遊びを楽しむ力をもっています。児童の発言や遊ぶ様子を日々アセスメントすることで、成長や発達のニーズに応じた支援を提供することができたと思います。また、取り決めや約束については、必ず児童と一緒に話し合っ

て決めました。保護者からの要望はあまりありませんでしたが、事業所で応えられることについては、職員と協議して実施しました。

- ② スキルアップを目的としたペアレント・トレーニング等の研修、勉強会を行います。

事業所全体の研修は、夏休み前に救急救命訓練を実施しました。それ以外では実施できませんでした。外部の研修は土曜日の開催が多いため、参加することができない状況がありました。各職員が任意で自己研修等に参加していますが、職員全体の技術向上には繋がっていないと思われま

- ③ 15 名の契約を目指し、毎日 10 名の安定した利用に繋がります。

平成 29 年度 4 月より新規児童 1 名を迎え、計 8 名で新年度を開始しました。その後、6 月に 1 名、7 月に 2 名、8 月に 2 名と新規契約が続き、計 13 名となりました。それ以降については、平成 30 年度の新一年児や綾町の児童の問い合わせのみとなり、目標の 15 名の契約は達成できま

した。

【活動総括】

利用人数が少しずつ増えたことで、活動の幅にも広がりが見られました。それと共に、「順番を守る」「独り占めせず交替する」「ルールを理解する」などの社会スキルを学ぶ機会に繋がりました。活動は、その月担当の職員が季節や行事に合わせて活動計画を立てますが、特に平日の活動に関してはマンネリの声も聞かれたため、限られた時間や環境の中で職員が活動内容を工夫したり展開させたりしながら、遊びの幅を広げました。11月を過ぎた頃から、「魚釣りがしたい」「クラブ活動を作りたい」、「自分達も活動を決めたい」という意見が聞かれるようになりました。子ども達自らの新たな遊びを発見する力や発展させる力を養うことも大切にしたいと考え、活動アンケートボックスを作成しました。子ども達の意欲やモチベーションを高め、更なる活動の充実を図っていききたいと思います。

【習慣活動報告】

活動曜日	火曜日
活動内容	・缶けり・鬼ごっこ・陣取り・かくれんぼ・伝承あそび・宝探しゲーム・コーナー遊び
活動状況	・ゲーム性、ルール性のある遊びを行いました。
活動実績	・利用人数が増えたことで遊びの幅も広がりました。ルールの理解については個人差があるため、ルール確認の際などに、一年生などに配慮した特別なルールを設けるなど、全体が上手く遊べるように工夫する上級生の姿も見られました。
次年度に向けて	・遊びのルールが定着してきたため、今後は、ソーシャルスキルトレーニングと合わせて実施していきたいと思います。

活動曜日	水曜日
活動内容	・習字(第1・3水曜 16:15~16:50)・感覚遊具・ウォーキング・行事の準備・練習
活動状況	・習字教室は川越理事長に指導いただき、集中力を高め、書く楽しさを味わいました。 ・感覚遊具等を使って運動遊びを実施しました。 ・全員の下校時間が揃うため、行事に向けた練習や準備を行うこともありました。
活動実績	・習字は、毎回テーマに沿って手本を基に模写をしますが、子どもが書きたい文字をリクエストすることも多くなりました。文字はテレビアニメのキャラクターなど様々ですが、モチベーションが上がり、意欲的に参加する様子が見られました。また、準備や片付けの方法を視覚化し、自分で行えるようにしました。 ・感覚遊具などで体の使い方を学び、体を動かす楽しさを感じているようでした。順番や交替もスムーズに行えており、トラブル等はほとんどありませんでした。
次年度に向けて	・習字は、作品を展示することで児童のモチベーションをさらに高められるようにしていきたいと思います。

活動曜日	木曜日
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙遊び・制作・布あそび・感触遊び・目隠し遊び ・ジェスチャーゲーム・宝さがし・伝承あそび
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や言葉を目的に製作や感触遊びを行いました。2学期以降は全体の下校時間が遅くなり、4時半前に事業所へ到着する児童がいたことから制作が難しくなりました。そのため、ジェスチャーゲームなどの遊びを実施しました。製作は、土曜日の午前中に設けました。
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・製作が好きな児童は多くいますが、作る時間が短い為、満足ができず不穏になる児童もいました。土曜日等の学校休校日などに取り入れることで、満足して制作に取り組めるようでした。 ・感触、感覚遊びは、目隠し遊びや物当てゲームをしました。遊びを理解し、触ることに抵抗を示す子どもはいませんでした。
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・制作やスライム作り(感触あそび)等については、土曜日や学校休校日に実施します。

活動曜日	金曜日
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽療法(第1・3金曜日 16:20~17:00) ・外遊び・森永公園
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽療法は馬庭職員により、表現する楽しみを増やすことを目的にしました。 ・外遊びでは、森永公園で気持ちや体の発散をしました。
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・セラピストによる音楽療法により、7月には打楽器等を購入しました。音楽を通して遊びの幅が広がり、楽器に身近で触れられる機会が増えました。人前で発表する場面も増え、聞く力や発表する力が少しずつ身についていると思われます。 ・外遊びでは、全員で遊びを一つ決めて行うようにしました。遊びを提案することや気持ちの折り合いをつける場面を繰り返し経験する機会を設けました。
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時間が遅い児童は活動の途中から参加することが多くなります。短い活動時間でも満足して遊びに参加できるよう、雰囲気作りに努めたいと思います。

活動曜日	土曜日・学校休校日
活動内容	<p>AM：制作・感覚遊具・国富町図書館・粘土・プラ板作り・室内遊び</p> <p>PM：法華嶽公園・萩の台公園・久峰公園・清水台公園・馬事公苑・のじりこぴあ・観音池公園・天ヶ城公園・大淀川学習館・科学技術館・フェニックス自然動物園・綾川・じゃぶんこ広場・三名体育館・須志田体育館・国富アリーナ</p>

活動状況	・土曜日や学校休校日は、事業所外での活動を取り入れました。
活動実績	・集団で遊ぶことが定着し、事業所外でも全員で鬼ごっこなどをして遊ぶ様子が見られました。また、ADHD の特性の強い児童については、役割をもたせることで集団の一員の自覚をもち、落ち着いて過ごすことができています。
次年度に向けて	・設定遊びだけでなく、子ども同士で決めたり関わったりできるような自由な時間を設けたり、職員が個別に関われる時間をもっと増やしたりしたいと思います。

【行事報告】

行事名	家族親睦会 担当：寺田
実施日時	6月24日(土)14:40～17:15 場所：麦わらぼうし
参加者	利用児8名 家族(兄妹児含む)9名
実績状況	・感覚遊具の様子を見学していただき、その後、茶話会と保護者懇談会を行いました。保護者懇談会では、児童の生い立ちから障がい受容の葛藤など、様々な話を聞くことができました。家族から「麦わらぼうしでの様子が見られて良かった」「同じような悩みをもつ家族がいることを知って心強く思えた」などの感想が聞かれました。
反省ステップ	・家族間の交流や勉強会などを企画しながら、家族の参画を目指していきたいと思えます。

行事名	デイキャンプ 担当：日高
実施日時	8月25日(金)10:00～15:40 場所：法華嶽キャンプ場
参加者	児童11名 職員8名(施設長) 実習生2名 ボランティア1名
実績状況	・カレーライス作り、スイカ割り、水遊びを行いました。米とぎや野菜切などを初めて体験する児童もいましたが、みんなで協力し合って、完成させることができました。スイカ割りも、事前にボールを使って練習していたため、早い段階で割ることができ、最後の児童に順番が回るころには、包丁で切らずに済むほど小さく割れていました。午後は川遊びの時間を多く設け、思い切り遊ぶことができ、子ども達の満足感に繋がったと思います。 色素性乾皮症をもつ児童のためのテントを借りたり、途中休憩を多く取り入れたりしながら参加へ導きました。ただ、テントが紫外線を通していている可能性もあることや中がサウナのように熱くなることなどから、更なる工夫や配慮が必要だと思われれます。 また、スイカの汁が原因で蕁麻疹が出た子どもがいました。医務主任へ連絡し助言を仰ぎ、その後家族に迎えにきてもらいました。
反省ステップ	・何を作るか決めて材料を購入するところから子ども達自身で行うようにしていきたいです。また、色素性乾皮症の児童がより安心して参加できる方法を考えます。

行事名	陶芸教室 担当：川添
実施日時	10月28日(土) 10:00~11:30 場所：エデンの園陶芸室
参加者	講師1名 児童4名 職員3名
実績状況	・半年以上前から活動に粘土を取り入れ、感触、指先の動き、創造性を養うことを目的として陶芸教室に向けて準備をしていきました。粘土について熱心に質問しながら、コップや置物づくりを楽しみました。3月の完成品の引き渡しの際は、作品を見て嬉しそうにしており満足感や達成感に繋がったと思われます。
反省ステップ	・本庄小学校は参観日のため、参加することのできない児童が多くいました。学校の年間計画を確認し、開催日の変更を行っていく必要があります。

行事名	クリスマス会 担当：鳥原
実施日時	12月25日(月) 13:00~16:00 場所：麦わらぼうし
参加者	利用児11名 職員4名 ボランティア2名 来賓3名
実績状況	・麦わらぼうし初めてのクリスマス会は、子ども達や職員の出し物、賛美歌の唱和、サンタクロースのプレゼント配布など、子ども達が楽しめる内容でした。全員が同じ目標に向けて一丸となって練習や準備に取り組む姿がとても印象に残りました。
反省ステップ	・エデンの園としての特色をあまり活かせなかったため、施設長に相談してできるといいと思いました。出し物の練習や装飾作りの期間が短かったので、11月には子ども達に話をして準備を進めていきたいと思います。 子ども一人ひとりにプレゼントはできませんが、麦わらぼうしで遊びたい玩具や教材のアンケートをとって、事業所にプレゼントする方法等で、子ども達の喜びに繋がりたいと思います。

行事名	たこあげ大会 担当：日高
実施日時	1月27日(土) 13:00~15:30 場所：麦わらぼうし
参加者	利用児10名 地域の児童1名 職員4名 ボランティア3名
実績状況	・森永小学校へ案内を配布し参加を呼びかけましたが、問い合わせがなかったため、再度小学校へ連絡し案内を配布したことで、一名が参加となりました。作る作業に時間が掛かりましたが、全員が凧を完成させることができました。高く揚がるものもありましたが、凧全体のバランスや凧糸の長さによって上手く揚がらないものは職員がその都度調整していきました。手作りする楽しさや達成感に繋がったと思われます。
反省ステップ	・児童の人数に対し道具の数が少なかったため、進行が遅れてしまいました。今後は道具を十分に準備します。また、児童が行う作業は、ねらいをもって取り組んでいけるようにします。

行事名	外食支援	担当：川添
実施日時	2月3日(土)12:00~14:00 場所：つかさ亭	
参加者	児童11名 職員4名	
実績状況	<p>・店選びでは、地域の飲食店に子どもが食べられる味付けかどうかやメニューが写真化されて分かりやすいか等を調べました。団体客になるため、店側との交渉を密に行いました。公共でのマナーを事前に確認しておくことで、落ち着いて食べることができました。また、食事代は小銭で準備してもらい、お金を選んだり数えたりしながら支払いを行いました。低学年児については、お金の支払が難しいため、事前に練習をしておくか、お金を渡すことを目的にすることも良いかと思われました。</p>	
反省ステップ	<p>・子どもにとっては楽しい活動ですが、在宅の子ども達に外食支援は必要かどうか疑問がありました。自分で軽食を作って食べるなど、必要なスキルを再度検討し、来年の活動に繋げたいと思います。</p>	

行事名	家族親睦会	担当：寺田
実施日時	2月17日(土) 17:30~19:30 場所：麦わらぼうし	
参加者	児童11名 家族8名 職員8名(施設長・坂元課長・事務局長・四位)	
実績状況	<p>・家族間の交流や情報共有などを目的に計画を立てました。一年間の写真をパワーポイントで上映したり、テーマに沿って発表したりしながら、子ども達の実態を伝えることができたと思います。</p>	
反省ステップ	<p>・職員は交替で保護者と話す時間を設ける予定でしたが、具体的に決めていなかったため、家族とゆっくり話をするできませんでした。次回は、時間やメンバーを決めて家族と話ができる時間を設けていきたいと思います。</p>	

行事名	遠足	担当：鳥原
実施日時	3月28日(水)10:00~16:00 場所：フェニックス自然動物園	
参加者	利用児12名 職員6名(四位・星崎)	
実績状況	<p>・午前中は動物園を見学し、午後からは自由時間にして乗り物等で遊びました。今回はお小遣いを500円持参してお土産コーナーで買い物やその他のゲーム等をして遊びました。色素性乾皮症をもつ児童も一緒に昼食が食べられるよう事前に確認し、屋内(情報プラザ)で飲食することができました。春休みでとても混雑していたため、子どもの見守りには特に注意が必要でしたが、ルールを守り、怪我なく楽しく過ごすことができました。</p> <p>雨天時は、プラネタリウムと県体育館でボルダリングに変更できるよう、準備を行いました。</p>	
反省ステップ	<p>・次回は、児童からアンケートを取って場所を選びたいと思います。お小遣いの使い方について、事前に児童に話をしていきます。</p>	

【防災訓練実施状況】

日時	訓練種目	想定	目的	実施状況
10月26日 (木)	消火 通報 避難	<ul style="list-style-type: none"> ・火災 ・はなの部屋 ・IHコンロから近くの布巾に引火 	避難誘導体制の確立、火災が発生した時の利用児と職員の避難経路、動きの確認	避難完了：第一避難所(西側玄関口前空き地)に落ち着いて避難できました。警報装置の音が大きく、肉声の指示が聞こえにくくなることや逆信の消防隊の質問が聞き取りにくいことが分かりました。そのため、避難経路や場所は職員が理解しておくことが望ましいと思います。
3月20日 (火)	搬出 避難	<ul style="list-style-type: none"> ・地震 ・日向灘沖地 ・震震度5強 	避難誘導体制の確立、活動中に地震が発生したときの利用児と職員の避難経路と動きの確認	避難完了：(雨天の為、玄関前の軒下を第一避難所とする) 参加児童の中には、笑っている児童もいて真剣さに欠ける場面もありました。損壊状況の想定をしっかりと準備し、あらゆる状況を経験していく必要があると感じました。

【事故報告】

事故報告 22 件、ヒヤリハット 6 件

事故報告は、怪我と破損が多くありましたが、些細な怪我については日常的に発生し易いため、事故報告やヒヤリハットに上げられていないものもあると思われます。提出の意義 15 名の契約を目指し、毎日 10 名の安定した利用に繋がります。を周知し、事故・再発防止に努めます。

6. 社会貢献事業・地域貢献事業

(1) 地域貢献事業（じょいほっぷ）

3年目となった「じょい・ほっぷ」。4月から6月においては、2名の児童のみの利用であった。7月に入り、夏休みだけでも構わないので空きはないだろうかと連絡があり、新規契約を2名、その後も3名契約を行った。現段階では、グリーゾーンの児童は利用していないが、新規契約の際には、じょい・ほっぷの目的と趣旨を説明し、理解を求めた。新規利用児童の中には中学生もおり、縦の関係が出来た事で、賑やかさの中にも落ち着いた雰囲気でも活動出来る日もあった。活動については、学校登校時は、宿題後に遊び、長期休暇時は、町内の公園へ行き、遊具や全体遊びを取り入れ、エデンの園に戻り、宿題という流れで行った。学校は違えども、すぐに意気投合し、決まった曜日で利用する児童も楽しみにしている様子が窺えた。1月に入り、来年度就学予定の児童の契約を複数名頂いている。また以前契約をしていた児童からの再利用と兄弟児の新規契約もあり、地域に根差した貢献活動が少しずつ広がってきていることを実感している。前年度の反省で、感染症などの為長期間活動閉鎖することに関しての課題が上がっていたが、まだ解決に至っていない。今後も長期の閉鎖も考えられるため、別の事業所と契約をして頂くよう理解を求めている。

利用定員 10名

月別利用実績

月	H29										H30		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
開所日数	20	14	20	21	22	20	21	20	19	19	19	12	
延べ人数	26	18	30	24	89	41	48	51	46	19	24	29	
1日平均	1.30	1.29	1.50	1.14	4.05	2.05	2.29	2.55	2.42	1.00	1.26	2.42	

(2) 社会貢献事業（みやざき安心セーフティネット事業）

平成29年1月に始まった社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会の生活困窮者等に対する相談支援事業「みやざき安心セーフティネット事業」に4月から加盟し、4件の相談を受けました。経済的援助が必要な相談はありませんでした。

平成29年度相談実績票

相談月	紹介者	経路	その後
5月	行政（福祉課）	電話	入浴サービスの新設
8月	介護施設紹介事業所	来所	経過観察
8月	介護施設紹介事業所	来所	初回完結
11月	なし	本人来所	初回完結

(3) 社会貢献事業（社会福祉法人協働型地域貢献モデル事業）

1. シニア元気アップ運動教室全体交流会の送迎支援

公用車と送迎地区

公用車（所有事業所）	送迎地区	人数	送迎職員
ノア（支援課）	六野	6名	支援課より延べ2名
シエント（グループホーム）	北俣	6名	グループホームより1名、相談支援事業所より1名
ハイエース（グループホーム）	六日町	8名	ふれあいより1名、麦わらぼうしより1名
ボクシー（麦わらぼうし）	六野	6名	相談支援事業所より1名、麦わらぼうしより1名

各事業所に呼びかけたところ、公用車や職員を可能な範囲で快く出してもらえました。

町民の方と深いかかわりがもてるわけではありませんが、小さな支援が大人数の交流会開催に結びつきました。

2. フードバンク事業

平成30年3月に、生活困窮者のための食糧（缶詰やレトルト食品、フリーズドライ食品等）を三名地区の施設と竹田地区の地域福祉支援センターに分けて備蓄しました。29年度の配布はありませんでした。

3. 子どもと障がい者の交流事業

2月24日、森永保育園、麦わらぼうし、向陽の里、うづら車（ふうせんバレーの会）の4団体でふうせんバレーを中心に交流会を行いました。

平成29年度 生活支援課 研修・出張
(県内)

	研修・会議内容	出張者・参加者
1	要配慮者利用施設の管理者に対する緊急説明会	支援課長
2	福祉の基礎知識研修	生活支援員
3	平成29年度新人職員等防火研修会	生活支援員
4	災害時における備蓄食研修	支援主任 管理栄養士
5	ファシリテーション研修	支援チーフ
6	認知症研修	生活支援員
7	部下のやる気を引き出すコーチング研修1	支援チーフ
8	平成29年度宮崎県知的障害者施設協議会新任職員研修会	理学療法士 生活支援員
9	感染症研修（高齢者・障害者）	生活支援員
10	介護基礎講習会	生活支援員
11	宮崎県防災士研修	生活支援員
12	平成29年度社会福祉施設及び教育関係機関等感染症研修会	管理栄養士
13	平成29年度 排泄ケア初級セミナー	支援チーフ 生活支援員
14	ターミナルケア基礎研修	支援主任 支援チーフ
15	医療安全研修会	生活支援員
16	喀痰吸引等研修	支援チーフ 生活支援員
17	交換研修（うからの里）	支援チーフ 生活支援員
18	職業能力開発推進者研修	支援課長
19	強度行動障がい支援者養成研修	生活支援員
20	第38回全国盲重複障害者福祉施設研究大会施設長会	支援主任 生活支援員
21	第38回全国盲重複障害者福祉施設研究大会	支援課長 支援主任 生活支援員 理学療法士
22	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース	支援チーフ
23	応急手当普及員講習	理学療法士
24	発達障がい研修（幼少期、児童）	生活支援員
25	平成29年度 排泄ケアフォローアップ研修	生活支援員
26	高次脳機能障害ファシリテーター養成講座	理学療法士
27	クレーム対応研修	支援主任
28	障がい者虐待防止・権利擁護研修（共通項目）	支援チーフ 生活支援員
29	障がい者虐待防止・権利擁護研修（分野別）	生活支援員
30	九州地区知的障害者福祉協会障害者支援施設部会研修会	支援チーフ 生活支援員
31	放課後等デイサービス視察（すびか）	理学療法士
32	放課後等デイサービス視察（オレンジ）	理学療法士
33	発達障がい者雇用セミナー	生活支援員
34	サービス管理責任者研修（地域）	支援チーフ 生活支援員
35	経営協セミナー	支援課長
36	マネジメントスキル基礎研修	生活支援員
37	発達障がい研修	生活支援員
38	強度行動障がい支援者養成研修（実践研修）	生活支援員
39	介護に活かすリハビリテーションの視点	生活支援員
40	アンガーマネジメント研修	生活支援員
41	防火管理責任者研修	支援課長
42	福祉・介護の職場定着推進フォーラム	支援チーフ
43	ストレス及びメンタルヘルスの基礎知識	支援主任
44	リフトリーダー養成研修	生活支援員
45	合同研修会	理学療法士
46	障がい者雇用促進セミナー	支援チーフ 生活支援員
47	管理者向けセミナー	生活支援員
48	同行援護従事者研修	支援チーフ 生活支援員
49	スライディングボード・シート	生活支援員

(県外)

	研修・会議内容	出張者・参加者
1	「知的障害者の高齢期支援を考える」研修会（熊本県）	支援チーフ
2	平成29年度全国盲重複研究協議会運営委員会施設長セミナー	支援主任
3	平成29年度全国知的障害関係施設長等会議（東京都）	支援主任 生活支援員
4	施設見学（熊本県）	支援課長 支援主任 生活支援員 医務主任
5	盲重複障害者福祉施設 職員研修会	生活支援員
6	第50回九州地区知的障害者関係施設職員研修大会（福岡大会）	支援課長 支援主任 理学療法士
7	第55回全国知的障害福祉関係職員研修大会（愛知県）	医務主任

まとめ

年間を通して計画通りに出張や研修を行う事が出来た。研修3カ月後にフィードバックを行い、実りあるものとなるよう指導した。しかしながら研修数が多く支援に影響が出てしまうこともあったので、次年度は受講内容を精査して、研修派遣を行っていくことが必要である。

平成29年度 地域福祉課 研修・出張

(県内)

	研修・会議内容	出張者・参加者
1	平成29年度宮崎県社会福祉法人経営者協議会総会及びセミナー	地域福祉課長
2	福祉の基礎知識習得研修	生活支援員
3	防火管理新規講習会	グループホームチーフ
4	平成29年度地域福祉コーディネーター養成研修	生活支援員
5	防火管理講習会	生活支援員
6	第三者評価研修会	地域福祉課長
7	平成29年度地域福祉コーディネーター養成研修	生活支援員
8	OJTスキル基礎研修	生活支援員
9	東諸地区地域福祉コーディネーター連絡会視察研修	地域福祉課長
10	メンタルヘルス研修	グループホームチーフ補佐
11	視察研修（特別養護老人ホーム ほほえみの園）	地域福祉課長 生活介護チーフ
12	宮崎県知的障害者施設協議会第6回相談支援部会・研修会	相談支援事業所チーフ 相談支援専門員
13	障がい者差別相談窓口研修会	指導員
14	平成29年度九州地区障がい者相談支援事業推進会議研修会	相談支援事業所チーフ
15	平成29年度地域福祉コーディネーター養成研修	生活支援員
16	平成29年度宮崎県社会福祉法人経営者協議会セミナー	地域福祉課長
17	リスクマネジメント研修 事故発生・苦情クレーム対応	生活介護チーフ
18	福祉サービス苦情解決セミナー	放課後等デイサービスチーフ グループホームチーフ
19	強度行動障がい支援者養成研修（基礎編）	生活支援員 指導員
20	県内グループホーム世話人等研修会	グループホームチーフ グループホーム チーフ補佐 生活支援員
21	第38回全国盲重複障害者福祉施設研究大会	地域福祉課長 放課後等デイサービスチーフ 相談支援 事業所チーフ
22	メンタルヘルス研修	生活介護チーフ
23	実践プランニングアップ研修	地域福祉課長
24	発達障がい研修（幼少期、児童）	指導員

25	第3回多職種連携研修	相談支援専門員
26	介助に活かすリハビリテーション研修	生活支援員
27	クレーム対応研修	相談支援事業所チーフ
28	障がい者虐待防止・権利擁護研修（共通項目）	生活支援員 指導員
29	障がい者虐待防止・権利擁護研修（分野別）	生活支援員 指導員
30	九州地区知的障害者福祉協会障害者支援施設部会研修会	生活支援員
31	実地研修（すびか）	指導員
32	実地研修（日向の杜）	指導員
33	みやざき子ども未来応援フォーラム2018	放課後等デイサービスチーフ
34	サービス管理責任者研修（地域）	生活支援員
35	平成29年度宮崎県社会福祉法人経営者協議会セミナー	地域福祉課長
36	平成29年度県内グループホーム職員研修会	グループホームチーフ
37	発達障がい研修	生活支援員
38	強度行動障がい支援者養成研修（実践研修）	生活支援員
39	平成29年度歯科保健課題解決に向けた研修会	生活支援員
40	管理職のための職場のストレスマネジメント研修	地域福祉課長
41	平成29年度社会福祉法人経営者協議会第2回総会及びセミナー	地域福祉課長
42	同行援護従事者養成研修	生活支援員
43	平成29年度地域福祉コーディネーター養成研修	生活支援員
44	同行援護従事者養成研修（応用課程）	生活支援員
45	社会福祉経営支援セミナー クレーム対応研修	相談支援事業所チーフ
46	施設見学（たらちね会せかんどはうす）	地域福祉課長 グループホームチーフ グループホームチーフ補佐 生活支援員

（県外）

	研修・会議内容	出張者・参加者
1	施設見学（熊本県）	地域福祉課長 相談支援チーフ
2	施設見学（鹿児島県）	地域福祉課長
3	第29回全国グループホーム等研修会	地域福祉課長

まとめ

様々な研修に参加したが、振り返りが不十分だった。4つの事業所にまたがるため、だれがどのように行えば定期的フィードバックが確実にできるかを考えなければならない。職員の資質を高めるためには、全員を各自に必要な研修に派遣したい。また、各事業所の運営や将来的展望に立った人材育成には、年度当初のしっかりした計画が重要だ。